



「高校生の一日看護体験」を実施しました

看護部長 かわかみ としえ
川上 利枝

島根県と島根県看護協会の事業を受けて、8月2日（金）に県内の高校生（1年生～3年生）を対象として「一日看護体験」を開催しました。看護体験を通して、看護の心や看護職への関心を高めてもらい、ひとりでも多くの皆さんに看護職を目指してもらうことを目的としています。

今年度は、県内19校71名と沢山の参加がありました。高校生1～3名が一般病棟、クリティカル病棟、外来等の13部署に分かれてケアなど看護師・助産師と一緒に看護の場面を体験しました。また、高度外傷センター、ドクターカー、NICU・GCU等の見学やクリニカルスキルアップセンターで、聴診器を使用しシミュレーターを利用した肺音の聴取、新生児の抱っこ体験、衛生学的手洗い体験を行いました。

看護体験後、「看護師さんが患者さん、一人ひとりに丁寧な対応と、その人に合った取り組みをされていて、かっていいなと憧れを持ちました。たくさんのお話を聞かせてもらえてとても楽しい看護体験になりました。」「より看護師、助産師になりたい気持ちが増して、これからも勉強をがんばろうと改めて思えました。」「初めて看護体験をして、上辺だけの「看護師になりたい」が少し深く考えて患者さんとうまく向き合っていくか悩むことができました。もっと看護師になるために勉強や、看護師に必要なスキルを磨いていきたいと思いました。ありがとうございました。」等の感想が聞かれました。

問合せ先 看護管理室 TEL：0853-20-2478



聴診器を使用して肺音を聴取している様子



新生児の抱っこ体験の様子



看護部の概要を聴いている様子

